

2019年度 第2回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 日時：2020年2月20日（木） 13時00分～15時10分

2. 場所：帝京大学医学部附属病院 6階 会議室2

3. 出席者：【委員】寺尾壽夫(委員長)、秦奈峰子(委員)、森唯章(委員)、川村雅文(委員)

【病院側】坂本哲也(病院長)、松野彰(安全管理副院長、医療安全管理責任者)、

河内正治(安全管理部長、専従安全管理担当医師)、

澤村成史(安全管理担当副院長補佐、医療機器安全管理責任者、

インフォームドコンセント管理責任者)、

溝田淳(総務担当副院長、診療録管理責任者)、

河野博隆(診療担当副院長、診療録記載改善委員会委員長)、

安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、土谷明子(看護部長)、

吉原久直(保険指導部長)、和久正志(事務長・書記)、

稲垣宏治(総務課長、内部通報窓口担当者)、

矢口成美(総務課長補佐、内部通報窓口担当者)、根岸希三子(安全管理部)

4. 委員が確認した内容

(1) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移

(2) 報告件数増加の要因

(3) 職種別・部署別統計の有無

(4) 報告件数が多い部署への評価

(5) 私立医科大学医療安全相互ラウンドについて

(6) 新型コロナウイルス感染症に対する当院の対策および対応について

(7) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績

(8) 未承認新規医薬品等評価委員会の活動実績

(9) 外来で処方する医薬品のチェック方法

(10) 職員に対する医療安全研修および教育について

(11) 職員への研修効果の確認方法

(12) 医療機器の保守点検の実績

(13) 医療機器安全使用研修の実績

(14) インフォームドコンセントの取り組みについて

(15) インフォームドコンセント時の同席者について

(16) 当院の診療録管理の取り組みについて

(17) 職員への内部通報窓口の周知方法

(18) 診療録記載改善の取り組みについて

5. 監査結果

- (1) ヒヤリハット・アクシデント報告数の増加について引き続き取り組んでいただきたい。
- (2) 職員研修会の出席率は優れているので、研修効果の判定結果を今後に生かしていただきたい。
- (3) 診療録記載については記載の充実に引き続き取り組んでいただきたい。
- (4) 高難度新規医療技術評価委員会および未承認新規医薬品等評価委員会については、適正な審査が実施されていることを確認した。
- (5) 新型コロナウイルス感染症に対する特定機能病院としての機能が果たせることを望む。

6. 講評

病院長および各安全管理責任者からの説明を受け、意見交換を行った結果、医療の安全と質向上の活動が継続的に行われており、特定機能病院としての機能を十分発揮できる体制が一層充実していることを確認した。

監査委員会は監査の結果として医療安全に関する業務が良好であり、適切なガバナンスのもと運営されていることを認める。今後この体制を維持するとともに、更なる向上に努めて活動を続け、患者さんにとって安心・安全な医療を行っていただきたい。